

資 料

新 着 資 料 の 紹 介

資 料 室

1) **Ф. Г. Федчин** 編 (1970) : 「Взаимоотношение оруденения и магматизм (鉍化作用とマグマ作用の相互関係)」, ナウカ出版社, モスクワ, 118p., 22×14cm (露文), UDC : 553.042.2 (571.63+571.61)

論文集である。掲載論文では沿海州とヒンガン地方のいろいろな構造帯—鉍産帯に分布するさまざまな鉍石フォーメーションに属した一連の鉍床, ただし岩脈と鉍体との相互関係がよく似た特徴を備えている一連の鉍床 (レヴィツキー鉍床, カバルガ鉍床, ヒンガン鉍床, カラドゥプ鉍床, オロノイ鉍床, ジャリンド鉍床) の花崗岩類とランプロファイアー玄武岩類の系列の岩石の岩石学的な, また岩石化学的な特徴が詳しく検討されている。

目 次

Г. А. Осипова : レヴィツキー鉍床の塩基性岩岩脈とその鉍床との関係 (図14, 表 8, 参35) p. 3-50
И. К. Никифорова et al. : カバルガ鉍床の貫入岩とスカルン (図 4, 表18, 参23) p. 51-98
Ф. Г. Федчин et al. : ヒンガン—オロノイ火山帯のマグマ岩と錫鉍化作用 (図 3, 表 1, 参3) p. 99-118

2) **В. Г. Моисеенко** (1965) : 「Метаморфизм золота месторождений Приамурья (沿アムール地方の金鉍床の変成)」, ハパロフスク出版社, 127p., 図38, 表35, 参148, 27×18cm (露文), UDC : 553.411+551.25 (571.61)

目 次

金鉍の変成に関する研究概史

沿アムール地方の地質・メタロジェニーの特徴

- 1 層序
- 2 貫入岩
- 3 地質構造の特徴
- 4 メタロジェニーの特徴と金鉍化作用の特徴

母岩の変成度と金の濃集作用・組成・分離規模との相関性

- 1 母岩の変成度と金の濃集作用の相関性
- 2 母岩の変成度と金の組成の相関性
- 3 母岩の変成度と金の粒度の相関性
- 4 自然金の分離規模とその試料との相関性

沿アムール地方の 2, 3 の鉍床における自然金その他の鉍物の熱変成

I アムール河流域の鉍床

- 1 地質の特徴
- 2 鉍体の産状, 規模, 形態
- 3 鉍体の構造と鉍石の組成
- 4 自然金の形態, 内部構造, 組成, 粒径
- 5 閃緑岩岩株付近における自然金その他の鉍物の変成転移
- 6 輝緑岩岩脈, 閃緑岩岩脈, 後鉍化石英—炭酸塩脈付近の自然金の変成
- 7 鉍床の成因問題

II ハルガ鉍床

- 1 地質の特徴と自然金の鉍物学的特徴

2 後鉱化地質作用の影響による自然金の変成と鉱床の成因問題

温度上昇の際の金の挙動

- 1 固態としての物質の拡散に関する文献の概要
- 2 温度上昇の際の自然金の組成変化
- 3 自然金の成長と分解
- 4 固態での金の拡散

まとめ

3) **А. К. Лисицин (1975)** : 「Гидрогеохимия рудообразования (鉱床生成作用の水理地球化学的研究)」、ネドラ出版社、モスクワ、248p., 図45, 表32, 参317, 22×15cm (露文), UDC : 550.461 : 553.495

目次

第1章 研究の対象と方法

- 1 「外因性後生鉱床」の定義の内容
- 2 アーテシアン盆地の構造中での外因性後生ウラン鉱床の地質学的・水理地質学的位置
- 3 外因性後生鉱床生成条件解明への水理地球化学的アプローチ
- 4 水理地球化学的環境の定性的・定量的特徴
- 5 鉱化過程研究の際の水理地球化学試料採取方法への要求と地下水分析法

第2章 地下水のウラン含有性

第3章 地下水中でのウランの移動形態とその決定法

- 1 ウラン水溶液の化学的研究結果から得られた情報
- 2 天然水中のウラン存在形態の実験研究の結果
- 3 地下水中でのウランのコロイド性移動形態
- 4 地下水中でのウランの有機鉱物性移動形態
- 5 地下水中でのウランのイオン性移動形態とその主要存在形態間の量比

第4章 地下水からのウランの沈殿に必要かつ十分な酸化-還元条件

- 1 地下水から沈殿するウラン酸化物の酸素指数値
- 2 地下水からのウラン沈殿開始 Eh 値に対する水溶液成分の影響
- 3 地下水からのウラン沈殿酸化-還元条件の範囲

第5章 還元性地球化学環境の形成における堆積岩の有機物と鉱物成分の役割

- 1 岩石・鉱物と水との化学平衡 Eh-pH 値の決定法
- 2 ウラン鉱の Eh-pH 値
- 3 瀝青と瀝青質岩の還元能
- 4 石炭と夾炭層の還元能
- 5 有機物に乏しい含鉄鉱物・含鉄岩の還元能
- 6 主としてコッフィナイト鉱化作用を伴った地区の岩石の特性

第6章 原子価状態を変化し、あるいは変化しないで進行する、地下水からのウラン沈殿過程の関係

- 1 泥炭の吸着能と還元能
- 2 含ウラン泥炭層の分布法則性と保存条件
- 3 石炭によるウラン沈殿時の還元と吸着の比率
- 4 瀝青によるウランの吸着と還元

第7章 水理地球化学的累帯構造の形成と後生鉱化作用に対する生物化学作用の影響

- 1 層状褐鉄鉱化作用帯の尖滅部分での還元地球化学環境の形成に対する微生物の役割
- 2 ウラン鉱化体を伴った炭酸塩質帯水・帯油層準の水理地球化学的的特性の形成に対する微生物の役割

- 3 油層・ガス層上の還元環境の形成に対する生物源天然ガスの役割
 - 第8章 後生鉄床・母岩規制累帯構造に対するガス状還元剤の影響
 - 1 硫化水素によるウランの沈殿
 - 2 水素によるウランの沈殿
 - 3 還元性地球化学バリアーのコントラストに対するガス状還元剤の影響
 - 第9章 帯水層準中の鉄、瀝青、石炭、ウラン、モリブデン、セレン、硫黄の酸化-還元平衡の量比
 - 1 帯水層中の鉄、有機物、ウランの酸化-還元平衡関係
 - 2 還元性地球化学バリアー中でのモリブデン硫化物と自然セレンの沈殿条件
 - 3 自然硫黄の生成
- まとめ

4) Н. И. Московченко, С. И. Турченко (1975) : 「Метаморфизм кианит-силлиманитового типа и сульфидное оруденение (藍晶石-珪線石型變成作用と硫化物鉄化作用)」, ナウカ出版社レニングラード支所, 139p., 図31, 表6, 参124, 22×15cm (露文), UDC : 551.243 (471.21) + 552.16 : 553.22+553.068, 7 : 435

目次

- 第1章 東北カレリア地域カレリア山地含鉄スプラクルスタリ=コンプレックスの地質構造の特徴
 - チクシェオゼロ系スプラクルスタリ層の地質学的・岩石学的特徴
 - 褶曲変形の順序と構造形態の解析
 - 硫化物鉄床の形態的特徴
 - 第2章 變成過程の岩石学的研究と鉄床生成作用
 - 變成鉄物各論
 - 變成条件の指標としての鉄物平衡の主要タイプ
 - 鉄物生成順序, 鉄物共生解析, 鉄物共生平衡条件
 - 硫化物鉄の成因
 - 第3章 熱力学的變成環境の進化と變成源鉄床生成作用
 - 高圧變成コンプレックス形成時における物理化学条件の変化
 - 広域變成作用の進化過程における硫化物鉄床生成作用
- まとめ

5) М. Г. Добровольская, Т. Н. Шадлун (1974) : 「Минеральные ассоциации и условия формирования свинцовоцинковых руд (鉛・亜鉛鉄の鉄物共生と生成条件)」, ナウカ出版社, Москва, 274p., 図74, 表18, 参210, 22×15cm (露文)

目次

- 炭酸塩岩とアルミナ珪酸塩岩中に賦存する鉄床の鉄床田の地質学的特徴
- ブラゴダーチ鉄床田の主要鉄体の地質・形態・賦存条件と鉄石のタイプ
 - ミハイロフ鉄床・北アカトウエフ鉄床の地質と鉄体の形態・賦存条件・鉄石タイプ
 - ノボシロカ鉄床・シャフタミンスキー鉄床の地質と鉄体の形態・賦存条件・鉄石タイプ
- 鉄石の構造の特徴と鉄物共生関係
- 「鉄物共生関係」の定義とその分類規準
- 炭酸塩岩とアルミナ珪酸塩岩中に賦存する鉄床の構造の特徴
- ブラゴダーチ鉄床田鉛・亜鉛鉄床鉄石中の鉄物共生関係
 - ミハイロフ鉄床・北アカトウエフ鉄床鉄石中の鉄物共生関係
 - ノボシロカ鉄床・シャフタミンスキー鉄床鉄石中の鉄物共生関係
- 各種地質条件下で生成した鉄物共生関係の類似性と相違性

各種共生関係の主要鉱石構成鉱物の比較特性とそのタイポモーフ特性

化学分析・分光分析資料による鉱物の組成

主要鉱石鉱物(方鉛鉱と閃亜鉛鉱)の電子顕微鏡による研究結果

鉱石構成鉱物のX線による研究の結果

主要鉱石鉱物の組成と性質の相関関係とそのタイポモーフ特性

東ザバイカル地方主要鉱床鉛・亜鉛鉱の生成条件

鉱石の生成作用の特徴に対する地質要素の影響

鉱石中の変成生成物について

鉱物共生関係の形成順序と鉱化作用の段階性

鉱石の物理化学的生成条件

炭酸塩岩中に賦存する鉱床中の鉱化累帯構造について

まとめ

6) В. В. Наседкин (1975) : 「Петрогенезис кислых вулканитов (酸性火山岩成因論)」, ナウカ出版所, モスクワ, 図77, 表42, 参248, 22×15cm (露文), UDC : 553.6.531+552.3

目次

第1章 酸性火山岩の岩石学的研究

物質組成研究法

化学組成

火山源岩の構造—組織上の変種

相組成

第2章 石英粗面岩・同凝灰岩の産状

岩体の形態

火山体の累帯分布

第3章 酸性マグマの生成とマグマ溜りのタイプ

主なマグマ生成方式

マグマ溜りのタイプ

第4章 実験的研究の結果

珪酸塩系, 珪酸塩—揮発成分系のタイプ

第5章 斑晶の鉱物共生とその生成条件

斑晶と外来結晶

斑晶と石基の相関関係

結晶作用条件

鉱物共生関係

晶出順序

第6章 火山体の冷固と地表条件下での分化作用特性

温度分布

粘性

圧力

メルトの再冷固とガラスの生成

再冷固メルトの結晶作用

空隙中の結晶作用

鉱物共生関係

第7章 火山ガラスの加水作用

加水作用と軽石の生成

火山岩の二次変質とガラスの加水

第8章 鉱物資源としての火山活動生成物

7) Г. К. Бондарик, А. М. Царева, В. В. Пономарев (1975) : 「Текстура и деформация глинистых пород (泥質岩の構造と変形)」, ネドラ出版所, モスクワ, 169p., 図 , 表 , 参 , 22 × 15cm (露文), UDC : 624. 131. 1

目次

- 第1章 砂一泥質岩の構造と変形との関係
 - 1 構造・構造レベルに関する定義, 構造分類図式
 - 2 岩石の変形と構造との関係
- 第2章 泥質岩の構造変化過程の研究法
 - 1 泥質岩の構造研究法
 - 2 或る構造を有する部層予測法
 - 3 試料の変形過程, 加圧・乾燥後の泥質岩の構造変化研究法
- 第3章 固結・圧縮による泥質岩の非可逆構造変化
 - 1 試料の特徴
 - 2 粘土の固結過程とその構造の変化過程の研究
 - 3 実験研究結果の考察
 - 4 固結作用による泥質岩の変形機構
- 第4章 一軸圧縮による粘土の非可逆構造変化
 - 1 試料の特徴とその分析への調整
 - 2 一軸圧縮過程における粘土の構造指標の変化
 - 2 結果の考察
- 第5章 一面剪断・多面剪断圧による泥質岩の非可逆構造変化
 - 1 研究課題と研究法
 - 2 一面剪断・多面剪断圧による岩石の非可逆構造変化
- 第6章 地じり研究への構造解析結果の適用
 - 1 ホスタ市フィンバンク地じり地区
 - 2 ケルチ市ジュコフカ地じり地区
 - 3 タジク共和国ジジルト地じり地区
 - 4 その他の地区の泥質岩の構造・組織および鉱物組成の研究
 - 5 結果の考察
- 第7章 非可逆構造変化による泥質岩変形過程の野外研究
 - 1 たわみ試験
 - 2 静力学検層
 - 3 圧縮試験
 - 4 結果の考察
- 第8章 地質学的課題の解決への構造解析法適用の展望

8) Ю. И. Тарасевич, Ф. Д. Овчаренко (1975) : 「Адсорбция на глинистых минералах (粘土鉱物による吸着)」, Наукопа, Думカ出版所, キエフ, 351p., 図175, 表74, 参750, 22 × 15cm (露文), UDC : 541. 183 : 543. 42

目次

- 第1章 粘土鉱物の構造の特徴
 - 粘土鉱物の構造に関する一般情報

粘土鉱物研究への準備作業

研究法

1 : 1 構造型の粘土鉱物の結晶化学的特徴

2 : 1 構造型の粘土鉱物

層一帯構造型の粘土鉱物

粘土鉱物の置換能の性質

第2章 各種結晶構造の粘土鉱物の吸着性

実験法

一般等吸着線分析

異常吸着ヒステレシス現象の原因について

粘土鉱物の比面積

粘土鉱物の多孔構造

吸着剤としての粘土鉱物の分類

水による粘土鉱物の吸湿比熱

粘土鉱物による水・炭化水素吸着の熱力学特性

第3章 水と粘土鉱物の相互作用

モンモリロナイトとパーミキュライト

カオリナイト, ハロイサイト, 加水雲母

パリゴルスカイト

水とパリゴルスカイトとの相互作用の分光スペクトルによる研究

粘土鉱物の親水性に関する近代的概念

第4章 モンモリロナイト, パーミキュライトと含 O_2 有機物との相互作用

吸着データとX線回折像データの分析

モンモリロナイトによるメタノール・エタノール吸着の熱力学特性

赤外線吸収スペクトル法によるモンモリロナイト・パーミキュライトとアルコール, アセトンの相互作用の研究

含 O_2 有機物で飽和したモンモリロナイトの層間部の構造について

第5章 含 N_2 物質とモンモリロナイト・パーミキュライトの相互作用

X線回折像の分析

モンモリロナイトとパーミキュライトによる含 N_2 物質の等吸着線

赤外線吸収スペクトル法による含 N_2 物質とモンモリロナイトの相互作用の研究

アセトニトリール

ピリジン

n-ブチルアミン

アニリン

含 N_2 物質で飽和したモンモリロナイトの層間部の構造について

第6章 粘土鉱物吸着性制御法の物理化学的基礎

イオン置換

熱処理

熱水処理

酸活性化処理

まとめ

9) **Б. Н. Пискунов (1975)** : 「Вулканизм большой Курильской гряды и петрология пород высокоглиноземистой серии (大千島列島山稜の火山作用と高アルミナ系列岩石の岩石学的研究)」, ナウカ出版所シベリア支所, ノボシビルスク, 187p., 図33, 表28, 参141, 22×15cm (露文), UDC :

551.21 : 552 (571.64)

目次

第1章 地質概説

- 1 層序
- 2 構造地質
- 3 得撫島・新知島の新第三系—第四系の柱状断面の特徴

第2章 得撫島・新知島の新第三紀—第四紀火山活動

- 1 前—中期中新世火山活動相
- 2 後期中新世—前期鮮新世火山活動相
- 3 後期鮮新世火山活動相
- 4 第四紀火山活動相

第3章 得撫島・新知島新第三紀—第四紀火山生成体の岩石学的研究

- 1 造岩鉱物とその生成順序
- 2 熔岩の共生タイプ
- 3 メルトの物理化学的晶出条件
- 4 岩石の化学組成とその時間的進化

第4章 大千島列島山稜火山生成体の岩系と組成変化

- 1 大千島列島山稜火山岩の岩系
- 2 主要深成岩系と高アルミナ噴出岩系との関係

第5章 列島弧の高アルミナ岩系岩石の起源問題

- 1 既存見解概説
- 2 千島列島弧の深部構造, 上部マンタルの岩石学的モデル, メルト生成作用における地殻の役割の評価
- 3 高アルミナ岩系岩石の起源

まとめ

10) И. В. Швецова (1975) : 「Минералогия лейкоксена Ярегского месторождения (カレガ鉱床産白チタン石の鉱物学的研究)」, ナウカ出版社レニングラード支所, 127p., 図35, 表17, 参151, 22×15cm (露文), UDC : 549.657.5 : 553.494 (470.13)

目次

第1章 白チタン石の問題とその研究の現状

第2章 ヤレガ鉱床の地質

第3章 ヤレガ鉱床白チタン石の鉱物学的特徴

第4章 チマン地方堆積—変成層産白チタン石の比較鉱物学的特性

第5章 チタン鉄鉱の白チタン石化作用の規則性

第6章 ヤレガ鉱床の白チタン石の成因

まとめ